



晴れやかに二十歳の門出を祝う

—南丹市発足後初の成人式—

昨年までは旧町で行われていた成人式を一月八日、「南丹市成人式」として南丹市園部公民館で行い、当日は三百五十六人の新成人が出席して晴れやかに門出を祝いました。



▲南丹市初の成人式に多くの新成人が参加

本年の南丹市成人式の対象者は、昭和六十一年四月二日から昭和六十二年四月一日生まれで南丹市内に住民登録および外国人登録のある方で四百八十人（園部町二百六十八人・八木町九十九人・日吉町六十三人・美山町五十人）が招待されたほか、南丹市内の



▲記念品を受ける廣瀬和摩さん

小・中学校の卒業生や、南丹市から転出した方で南丹市で成人式を希望される方なども対象としました。
式典には、京都府や南丹市議会から多くの来賓と、小・中学校時代の担任の先生方など多数出席され、新成人を盛大に祝いました。
式典は三部構成で行われ、一部の式典では勝田正巳教育委員会委員長の開会宣言の後、佐々木稔納市長が「ふるさと



▲誓いの言葉を発表する美馬奈穂子さん

新成人に 将来の夢を 聞きました

高校生の時から、児童福祉のボランティアをしていて、将来は地元南丹市で児童福祉の仕事に就きたいと考えています。



谷川 雄大さん(園部町)

テレビディレクターを目指して勉強しています。将来は、南丹市の素晴らしさを多くの人に知ってもらえる番組が作りたいです。



井上さやかさん(八木町)